

5. 道標・各種石柱 など ～先人の足跡を留める～



栗沢町砺波地区 道 標

開拓の歴史を語る

(1). 市街中心地域 西

岩見沢神社境内

皇紀二千六百年記念植樹碑



万葉歌記念碑



緑が丘地区 八大龍王寺境内

球形石碑『足跡』

碑文

石碑について

この碑は、初代理事長、蜂谷耕造所有地に信徒有志と共に建立されたもので、平成十三年十一月岩見沢市鳩ヶ丘三丁目六の三より移設いたしました。



4条西1

岩見沢消防署跡地
記念石柱



3条西3丁目

岩見沢郵便局跡地
記念石柱



中央公園

1979年国際児童年記念像



岩見沢神社境内
お百度石



御本殿基礎改修記念



牛羊会創立二十周年記念石柱



中央公園 暁の鐘

鐘の創設 寄贈者の願い

命名 内閣総理大臣 中曽根康弘

鐘寄贈者 福岡永泰

鐘 この暁の鐘は

1. 世界の未来を託す青少年の健全育成の実践を通して
艱難に耐えて 自立、友愛、創造、発明、発展の希望
の輪を天地に広げ響かせる鐘にしたい
2. 世の人々の平和、安全、繁栄を導く希望の象徴実践の
鐘といたしたい
3. 宇宙の攝理、報恩、感謝、一家和合の幸せを培う心豊
かな情操徳育の向上による日々好日の明るい鐘の音
といたしたい

鐘始鐘 昭和五十九年十二月十五日



暁の鐘愛護普及会

はぎぞの緑地

岩見沢開基100年記念

岩見沢ロータリークラブ創立30周年記念



東山町地区 本妙寺境内

鬼子母神堂



東山町地区 本妙寺境内
立正安国論石柱



駒園地区 妙福寺境内
記念碑



中央公園
空知支庁跡地記念石柱

『北海道空知支庁跡地』

空知支庁の変遷

明治30年10月30日空知支庁設置（空知・夕張・雨竜・樺戸郡を管轄区域とする）

7条西1丁目（旧警察署・現絵画ホール）

大正5年12月 4条西6丁目に新築移転

大正7年 2月 失火全焼（180坪）

大正8年12月 新庁舎落成

大正9年 6月 空知支庁別館落成（通称空知会館）

昭和23年1月 庁舎失火全焼 別館も類焼

昭和24年3月 本庁舎、別館新築落成

昭和46年10月 現在地（8西5）に5階建ての新庁舎落成。

別庁舎であった保健所、空知教育局も入庁し執務が開始された。

平成5年7月建立



文化センター敷地内

岩見澤ロータリークラブ創立八周年記念

愛の母子像

碑文

四つのテスト 言行はこれに照してから

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか

創立八周年記念

1962. 6. 1 岩見澤ロータリークラブ



岩見沢駅構内より移設

(2). 市街中心地域 東

7条東1 明心禅寺境内
報恩堂



7条東1 2 明了寺境内
記念碑『清水流遠』



～ 11条東1 長高寺境内 ～
法界塔 西国三十三所観世音婦人記念碑



岩見沢市役所敷地内

岩見沢市民憲章

わたしたちは、生き生きとした
緑の中の岩見沢市民です。

岩見沢は雄大な石狩平野にのぞみ、たくましい開拓の精神に生き、伸びゆく産業・交通の中心のまち、かおり高い文化のまちとして、未来に大きな夢と願いをもっています。

わたしたちは、このまちに住むことに誇りをもち、品性豊かな市民となるためこころをあわせて市民憲章をさだめます。

心とからだをきたえ、たのしく明るいまちにしましょう。

木や花を愛し、親切で住みよいまちにしましょう。

ひとに迷惑をかけず、進んできまりを守るまちにしましょう。

仕事に誇りをもち、力をあわせて豊かなまちにしましょう。

未来に夢をもち、知性と若さにあふれたまちにしましょう。

昭和四十三年五月五日制定



岩見沢消防署敷地内
岩見沢市役所跡地石柱



7条東5 常巖寺境内
歴住塔



7条東1 明心禅寺境内
庚申塚



三笠市岡山地区

岡山神社地先

舟着場跡

市来知村に汽車が走る前には、札幌から豊平川・石狩川・幌向川・幾春別川と船でさかのぼって来ました。

明治8年開拓使は、幌内への旅行者のために休泊小屋を設け、ここに丸木船を着け上陸していました。



宝水町地区

宝水神社跡地

御祭神・天照大神

明治四十年創祀する。野々沢神社次いで二ノ沢神社と称した。元天照大神孫別奉斎所とも称した。大正九年八月二十七日野村勘右エ門氏大改修。昭和五年鳥居を再建する。昭和六十年総代川越氏を中心に有志により鳥居を再建する。平成九年四月六日離農者多数、維持困難のため春祭終了と同時に昇神・本殿内神棚及び神札を岩見沢神社に回収・焼き上げ。借地を元地主に返還。



(3). JR 函館本線沿線～幌向川下流沿岸地域

若松町地区 北部神社跡碑

御祭神・大国主神 伊夜日子神

明治十七年山口、鳥取等十二県二百七十七戸の第一陣として士族三十九戸が移住したのに始まる。北四の一松原小槌氏が自宅に私塾を開いて、岩見沢教育の原点とも言われた鉄北一帯を北部又は北区と称した。神社は明治三十九年石黒長平氏より三百六十坪の寄進を受け三坪の社殿を造営する。大正十年西と東の樺木、伊夜日子両社合併、昭和十三年社殿を改築する。平成十七年九月三日、秋祭を最後に同十月二十二日社殿解体。本殿内神棚、神札、幟、幕等は回収焚き上げ。由緒書き等は神社跡地に保存。



志文本町地区 志文神社境内

天照大神石柱



志文本町地区 志文神社境内

神社敷地寄付者の石柱



志文冷水地区

いわみざわ公園 金志池堰堤

金志池竣工記念石柱

大正十二年九月 金志土功組合



御茶の水町地区 御茶の水神社境内

神社敷地寄付者の石柱



中幌向町地区

JR 函館本線 東 6 号踏切傍
道 標



JR 函館本線 東 9 号踏切傍
道 標



(4). 幌向川上流沿岸地域

美流渡地区

市役所支所敷地内

栗沢町民憲章碑



美流渡神社境内

天照大神石柱



朝日町地区

朝日神社境内

植安姫命ほか石柱



朝日不動明王堂境内

阿弥陀如来石柱



朝日神社境内

石碑『西慶石』



(5). 栗沢町地域

砺波地区
南九線東九号路傍
砺波九線道標



砺波地区
南十線東九号路傍
砺波十線道標



北斗地区
豊栄神社境内
天照皇大神石柱



本町地区 市役所支所敷地内

栗沢町民憲章碑

わたしたちは 風雪にたえてこの町をきり拓いた先人のたくましい心を受けつぐ栗沢の町民です。産業をひろめ 互いに助けあいさわやかな住みよい町づくりに励みます。

1. 元気で働き豊かな町にしましょう。
1. 教養を高め文化の町にしましょう。
1. 子どもも老人もしあわせな町にしましょう。
1. 自然を愛し緑の美しい町にしましょう。
1. きまりを守り平和な町にしましょう。



岐阜地区 岐阜西神社境内
稲倉穂命ほか石柱



由良地区 常宝寺境内
釋慈晃院釋尼妙誓之碑



由良地区 常宝寺境内
釋仁音之碑



本町地区 市役所支所敷地内

茂世丑地区 報徳坂頂上

栗丘地区 志田家敷地内

合併記念之碑

報徳坂道標

天照皇大御神ほか五角石柱

『協働の心で築こう豊かな未来』



岐阜地区 西福寺境内
開基清涼院釋正章之碑

北斗地区 南三線東二号
山田家代々之碑

上幌地区 上幌神社地先
稻蒼魂命ほか石柱



(6). 北 村 地 域

豊里地区 北村牧場敷地内 鏡沼畔
北村牧場の碑記

砂浜地区 砂浜神社境内
砂浜神社新築記念事業碑



北都地区 北村宅敷地内

旧北村農場事務所



北都地区

旧北村小学校跡地

石柱群



五社大明神石柱

地神社石柱



稲倉魂命ほか石柱

稲倉魂命
垣安媛命石柱



少彦名命
天照皇大神



大己貴命
天照皇大神



殖安大神ほか石柱

殖安大神
稲倉魂命



大国主神
天照皇大神



稻耨魂神
天照皇大神



豊里地区 豊里神社境内
五社大明神石柱



豊里地区 旧馬検場跡地
少彦名大神・大己貴大神
天照皇御大神
猿田彦大神石柱



栄町地区 栄町神社境内
殖安大神・稻耨魂神
大国主神・少彦名神
天照皇大神石柱



豊正地区
豊正東自治会館敷地内
天照皇大神石柱



中央地区
中央三自治会館敷地内
地神宮・天照皇大神石柱



赤川地区
北村公民館敷地内
開村八十年記念塔



道々岩月線・市道岩見沢線交差点
開村百年記念塔



北村々民の誓い （開村八十年記念塔の碑文）

幾多の先人が原始の土地に入植し洪水とたたかいつづけて現在の豊かな郷土をつくりあげました。わたしたちはこの大地の上に永遠に生きつづけるために次の誓いを定めます

- 1、原始の大地をきり拓いた先人の勇気と汗をうけつぎましょう
- 1、母なる大地を讃え村民が心と力を合わせて無限の生産をあげましょう
- 1、明るい家庭の中に農村文化の華を咲かせましょう
- 1、未来をになう青少年をきびしさの中に希望をもたせて育てましょう

昭和五十四年十月 建立

北 村